

ハローキャリアワーク通信

令和8年7月吉日
教育総合センター
事業推進担当課

京王電鉄による「鉄道の安全について考えてみよう！」



6月20日(土)、京王電鉄井の頭線富士見ヶ丘乗務区において「鉄道の安全について考えてみよう！」の活動が行われました。あいにくの雨模様でしたが、小学5,6年生の当選者19名(応募総数:54名)が元気よく参加しました。

教育委員会の担当者からハローキャリアワークの説明と諸連絡のあと、京王電鉄の佐藤さんから、会社の概要と鉄道の安全についての説明がありました。

その後、子どもたちはヘルメットに安全ベスト、さらに白い手袋(これは運転士さんや車掌さんが使う本物!)を身につけて、いざ本物の車両に乗り込みました。今回は2本の電車(1771編成と1779:レインボー)を特別に用意していただきました。通常のドアではなく、前面にある「貫通扉」(緊急時の脱出用の扉)から、梯子を使って昇るという滅多にできない体験をしました。さらに降車の際は乗務員室の扉を使い、社員さん方に手伝



運転士さん手作りの歓迎ボード!



っていただきながら慎重に降りました。

車内では4つの班ごとに分かれて、社員さんからレクチャー



を受けました。①ドアコック体験 ②ドアの危険性を知る ③非常設備の説明 ④乗務員室内の説明 の4つのコーナーを、ローテーションしながら体験していきました。



非常ドアコックを開ける。プシューとエアが抜ける音がすさまじい!



車内非常通報装置を使って、車掌さんに緊急事態を通報!



ドアにはさまった人を、みんなで救助!

運転席でワンハンドルマスコンを握る体験!!



本物のダイヤグラムに興味津々!

後半は会議室にもどって、鉄道の安全について考えるワークです。社員の伊藤さんと平野さんが話し合いを進行してくださいました。まずはじめに「今日学んだ車両の安全設備について、もっとみんなに知ってもらうにはどうしたらいいか？」という問題が出されました。各自でしばらく考えた後、子どもたちから



多くの意見が出されました。「電車内でアナウンスする」「ポスターをつくる」「SNSで発信する」「駅の電光掲示板」「公式YouTubeチャンネルで」「京王アプリを使う」「親子参加のイベント」「学校で広める」など子どもらしい発想があり、興味深かったです。



次に「私たちにできることは何だろうか？」という問題で、4つのテーマが示されました。① ホーム上の安全について考えてみよう！ ② 踏切道の安全について考えてみよう！ ③ 電車内の安全について考えてみよう！ ④ 困っている人・危ない場面を見たときについて考えてみよう！ この4つのテーマがランダムに班に割り振られ、班



のみんなで話し合いました。個人の考えを付箋紙に書き込み、台紙に貼りながら意見をまとめていきました。限られた時間内でひとつにまとめ



ることは、なかなか難しかったようです。それでも最後には、4つの班すべてが全体に向けて考えを発表することができました。①のホーム上の安全については「線路に落ちた人がいたら非常ボタンを押す」「歩きスマホをしない」「ホームドアの大切さ」②の踏切の安全では「非常ボタンを押しやすくする」「ホームドアみたいな踏切にする」③の電車内の安全には「お互いに声を掛け合い乗務員さんの指示に従う」「迷わず非常通報」④の危ない場面では「非常ボタンを押す」「呼び出しインターホン」といった話し合いの成果が発表されました。日頃から各学校でこういった形の学習を、積み重ねてきている子どもたちです。初対面同士でも短時間で関係性を築き、短時間で意見をまとめ発表できるすばらしい5,6年生です。最後にまとめとして、「鉄道には様々な安



全装置があるが、定時運転をしている状態が一番安全」「安全運行は係員の努力だけでなく、みんなで守れる安全があることを知ってほしい」等のメッセージが社員さんからありました。

振り返りカードには、全員が「楽しかった」と記されていました。中には、「将来京王電鉄で働きたい」と希望する児童も複数いました。今回も京王電鉄の皆様の全面的なご協力のもと、こうして成功裏に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。